

横浜市立大綱中学校 令和2年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針



(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
「共に学び、自他を大切にし、たくましい、心豊かな人を育てます」	<問題発見・解決能力>

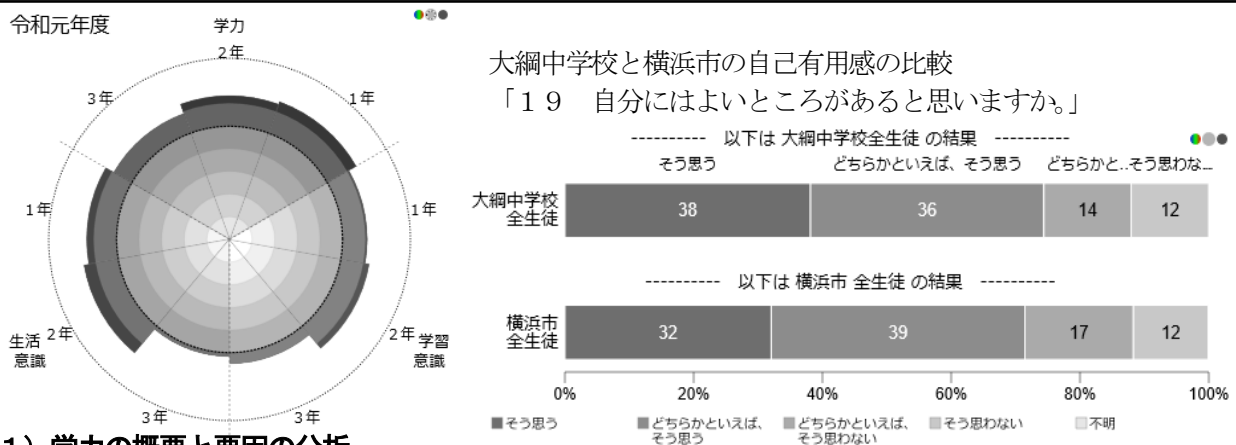
(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○指導力・授業力・組織力の向上により、魅力ある学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話による学び合いの姿勢を尊重し、協働しながら持続可能な社会を創造する力を育みます。 ・困難に立ち向かい、多様性を尊重し、思いやりのある姿勢を育み、いじめのない学校風土をつくります。 ・挨拶から始まるコミュニケーションを大切にし、実生活や将来につながる生活態度を身に付けさせます。 ・教職員集団としての協働性を尊重し、日常の教育活動を推進します。 ・保護者や地域との連携を大切にし、地域に貢献しようとする姿勢を育みます。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①「主体的・対話的で深い学び」「各教科の見方・考え方に基づく指導」に向け、意見交換する場面を設定し、多面的・多角的な見方や考え方を深め、互いに知恵をはたらかせて問題を解決する力を育む。②生徒の反応を大切にし、教科横断的な視点での授業改善につなげる。
担当 学習指導部	

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握



(1) 学力の概要と要因の分析

すべての学年、教科、調査項目において横浜市の平均を上回っている状況が見られる。すべての教科に対して学習意欲が高く、学習の重要性を理解している。市の平均よりも読書量が多く、音楽や美術などの芸術に関する興味・関心が高い。今年度は理科と英語の学力が高い。大綱タイムによる朝読書の取組や生徒が分かりやすい授業を目指した日々の努力が結果として表れている。また、家庭や塾等でも熱心に学習に取り組み、スマホやゲームの時間が短いという結果も大きく影響していると分析する。

(2) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

平成30年度は、学力調査はすべての項目において市の平均を上回っていたが、体力調査では半分の項目が市の平均を下回っていた。令和元年度は、両方の調査で市の平均を上回る結果が出ている。家庭で長く学習に取り組む習慣が身につけているのは良いが、一方で、平成30年度と同様、睡眠時間が市の平均よりも短い。また、握力が市の平均よりも低いという結果が表れている。自分にもよいところがあるなど自己肯定感や規範意識に関する回答が高く、最近の生徒の傾向を考えると安心できる。また、将来の夢がある生徒も市の平均を超えている。ほとんどの生徒が学校は楽しく安心できる場所と答えているが、さらに充実した教育活動を目指し、全ての生徒が楽しく安心して豊かに生活できる学校を目指していきたい。

3 令和2年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
国語	◆伝え合うことで集団の考えを発展させる力	○見通しと振り返りを大切にし、生徒自身が身に付けるべき力を理解できるようにする。	○小グループでの交流を通して、自分の考えを伝え合う場面の設定をする。
社会	◆よりよい社会の実現を目指す態度	○レポート、意見文などの学習活動、それを基にしたスピーチや発表活動を取り入れる。	○少人数での話し合い活動を年間を通して行い、自信を付けさせる。
数学	◆考えの妥当性や信頼性を吟味する力	○少人数授業やTTを行い、小グループや全体の場で、自分の考えや解き方を表現する力を養う。	○少人数授業やTTを行い、小グループや全体の場で、自分の考えや解き方を表現する力を養う。
理科	◆問題解決の過程を振り返る	○実験結果や調べ学習についての発表を行う。	○結果のまとめ方や考察の仕方を重視したレポート作りを行う。
音楽	◆観察する力・洞察する力	○個人やグループでの演奏・発表の機会を増やし、表現力を高める。 ○鑑賞では批評文を考え、歌唱では歌詞の内容を理解して歌わせる。	○個人やグループでの演奏・発表の機会を増やし、表現力を高める。 ○鑑賞では批評文を考え、歌唱では歌詞の内容を理解して歌わせる。
美術	◆結果を予測する力	○イメージをしっかりと持たせた計画的な制作活動を行う。 ○イメージを実現するための基本的技法の習得を行う。	○イメージをしっかりと持たせた計画的な制作活動を行う。 ○イメージを実現するための基本的技法の習得を行う。
保体	◆目標を定義・設定する力	○毎時間の授業開始時の準備運動において、体づくりのトレーニングに取り組み、体力向上を図る。	○新体力テストの結果を生徒自身が考察し、生活の中での体力向上プログラムについて考え、実践する。
技・家	◆解決手段を定める能力	○パワーポイントなどによる資料作成などICTの活用と体験的な学習を充実させる。	○パワーポイントなどによる資料作成などICTの活用と体験的な学習を充実させる。
外国語	◆考えの妥当性や信頼性を吟味する力	○生徒同士のQ&A (Chat Time) を行う。 ○会話をを行う activity を多く取り入れる。	○生徒同士のQ&A (Chat Time) を行う。 ○会話をを行う activity を多く取り入れる。
道徳	◆社会的な問題を「正しく」認識する力	○道徳的価値について自ら考え、それをさらに深化させる授業を行うための教材研究を行う。 ○学年ごとに、授業指導案による授業研究をすすめる。	○道徳的価値について自ら考え、それをさらに深化させる授業を行うための教材研究を行う。 ○学年ごとに、授業指導案による授業研究をすすめる。
特活	◆伝え合うことで集団の考えを発展させる力	○学校生活や生徒会の取組、学校行事の関連などから問題を見付け、その解決に向け話し合ったり取り組んだりできる活動を設定する。	○学校生活や生徒会の取組、学校行事の関連などから問題を見付け、その解決に向け話し合ったり取り組んだりできる活動を設定する。
総合	◆よりよい社会の実現を目指す態度	○「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という探究の過程が単元の中で何度も繰り返され、スパイラルに高まる学習過程になるようにする。	○各教科等単独では取り組むことが難しい現代的な課題を、各教科で身に付けた力を活用しながら探究的に学ぶことができるようにする。
個別級	◆自立心	○生徒自ら自立活動の学習に主体的に取り組むために、一人ひとりの実態に応じた学習環境を整える。	○個別の指導計画に基づき、授業形態や学習集団の構成を工夫し、指導の充実を図り、成就感を味わえるようにする。